

平成28年度当初予算「暑さ対策」事業 一覧

単位：千円

No.	事業名	新・継	予算額	事業内容	担当課
1	「暑さ対策」 アロマの香りで涼しさUP事業	新規	162	来庁舎の暑さによる不快感をやわらげるため、市庁舎1階と熊谷図書館1階フロアにおいてアロマディフューザーを設置し、アロマオイルの香りで涼しさを感じてもらう。	庶務課
2	「暑さ対策」 ミストシャワー購入支援事業	新規	500	熱中症の予防と夏場の市民活動の活性化を図るため、屋外での地域行事等のために使用する簡易型のミスト発生装置の購入費用の一部を補助する。	市民活動推進課
3	「暑さ対策」 暑さに強い子“かんげき”！事業	新規	300	市内全公立保育所、あかしあ育成園において、園児に対し熱中症予防のための紙芝居を実施し、園児自らが熱中症の予防を心がけることができるようにする。	保育課
4	「暑さ対策」 小学校委員会活動支援事業	新規	2,900	児童が主体的に暑さ対策の充実や熱中症予防の知識を学ぶため、市内小学校における児童委員会活動に対し支援する。	学校教育課
5	「暑さ対策」 デジタルサイネージ事業	継続	440	熊谷駅構内において、夏の熱中症予防情報やイベント等の市政情報を発信し市民の健康を守るとともに、案内等で駅利用者の利便性を向上させる。また、災害時には帰宅困難者への情報発信を強化する。	広報広聴課
6	「暑さ対策」 熱中症予防グッズ配布事業	継続	4,000	熱中症にかかりやすい小学生(平成28年度入学者)や高齢者(75歳)に対しクールスカーフを配布する。また、熊谷市オリジナルグッズとして一部販売する。	企画課
7	「暑さ対策」 涼しさ体感アート事業	継続	1,120	涼しさを感じさせるデザインを広く募集し、7月から9月までの間、熊谷駅正面口・南口階段並びに籠原駅の階段をデザインシールで装飾する。	
8	クールシェア推進事業	継続	1,300	夏場、涼しい場所に集まることで、消費電力の減少とともに、節電と人とのつながり、コミュニティやまちの活性化を図ることを目的に、クールシェアくまがや実行委員会に対し、クールシェアスポットを紹介するマップの作成や、クールシェアを広く周知するためのイベントや啓発に係る経費を負担する。	
9	「暑さ対策」 ちびっこ元気事業	継続	3,150	熱中症予防のため、3歳児を対象に、熊谷市オリジナルの冷却機能を備えた垂れ付き帽子を配布する。	こども課
10	「暑さ対策」 まちなかオアシス事業	継続	765	6月から9月までの間、市内公共施設22か所、暑さにより気分が悪くなった方のために、水分補給等ができる一時的な休息所を開設する。また熱中症に備えた対策キットを設置する。	健康づくり課
11	「暑さ対策」 えんむすび日傘事業	継続	720	妻沼聖天山周辺の商店街等に、誰でも自由に使える日傘(和傘)を置き、観光客のまちなかの移動を快適にするとともに、「おもてなしの熊谷」をピーアールする。	商業観光課
12	「暑さ対策」 暑さにまけるな中学生事業	継続	450	市内全中学2年生を対象に、熱中症予防の知識・スキルを身に付けるとともに、AEDを活用した救命処置を含む熱中症対策講習を学校の授業の一環として実施する。	学校教育課
			15,807		